

赤十字かごしま

2020
Vol. 207



救うことを、つづける。

十字の窓。

その窓は、苦しむ人びとに開かれ、
救いの手を差し伸べる窓。

日本赤十字社は、
一人ひとりが救うという強い意志を持って
日々、かけがえのない命と向き合っています。

命をつなぐ十字の窓は、
これからも、決して閉ざされることはない。



日本赤十字社
鹿児島県支部長
三反園 訓

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃から赤十字事業への深い御理解と御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、5月に「令和」という新しい元号に変わる記念すべき年でありましたが、国内では8月の九州北部豪雨、9月の台風第15号、10月の台風第19号などの災害により多くの方々が被災され、日本赤十字社では、医療救護班の派遣や救援物資の輸送・配分、被災者に対するこころのケア活動など各種支援活動を展開しました。

一方、鹿児島県内においては、幸いにも、医療救護班が出動する事態には至りませんでした。6月29日から県本土を襲った記録的大雨により被災された方々に対して、当県支部では迅速に毛布や緊急(日用品)セット、ブルーシートなどの救援物資をお届けしました。これらの自然災害により、亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

このような災害救護をはじめとする日本赤十字社が行う様々な活動は、県民の皆様の温かい御支援・御協力によって支えられております。

今後とも、「人道」の旗印の下、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動を積極的に展開してまいりますので、引き続き御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が平和で穏やかな年となりますよう、皆様の御健勝と御多幸を祈念し、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。

活動報告

8月31日(土)午前7時25分、同月27日から九州北部を襲った豪雨により佐賀県に大きな被害が発生しました。日赤鹿児島県支部は佐賀県支部からの要請を受け、直ちに医療救護班(医師1名、看護師3名、主事2名)を派遣しました。

本救護班は、同日中に被害の大きかった佐賀県武雄市の杵藤地域保健医療調整本部へ到着し、地元保健師の方々をサポートしながら、避難所へ避難されている被災者の健康管理業務や保健医療調整本部の業務支援などを行いました。

その後、地元の医療関係機関の機能回復により、医療救護活動を地域へ引き継ぐこととし、9月2日(月)に帰還しました。

このように、災害救護活動において、広域的な対応ができるのは、皆様からの温かいご支援のおかげです。

日本赤十字社では、今後も全社一丸となって、一人でも多くの方を救うための活動を続けていきます。



地元保健師との打ち合わせ



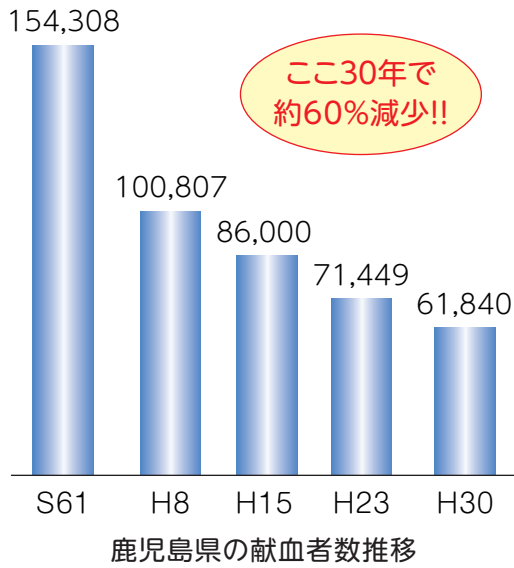
長引く避難所生活で体調を崩さないように



日赤佐賀県支部へ活動終了報告

鹿児島県赤十字血液センターの紹介

献血の現状



一方で、輸血用血液製剤の多くは不慮の事故等に伴うものではなく、がん(悪性新生物)の患者さんの治療に使用されています。輸血用血液製剤を使用されている方々の約85%は、50歳以上の方々となっています。

この需要と供給のバランスを維持していくことが今後の課題となっています。

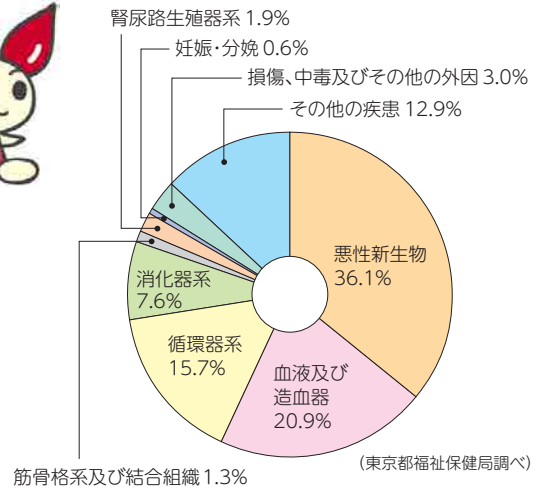
鹿児島県における献血者数は、全国統計と同様に減少傾向にあります。

特に、若年層(10代・20代)の献血率低下が顕著となっています。

昭和61年度の若年層献血者数は、42,837人であったのに対して、平成30年度は、9,363人となっており、約20%にまで低下しています。



疾病別輸血状況 (2015年 東京都)



輸血用血液製剤の多くはがん(悪性新生物)の患者さんの治療に使われています。

血液センターの取り組み

血液センターでは、さまざまな取り組みを行っております。

献血活動においては、学生献血推進協議会やけんけつ応援隊、いのちをつなぐ友の会のボランティアの方々、献血協力団体、企業の方々のご協力をいただきながら、献血者の確保に取り組んでおります。



鹿児島県学生献血推進協議会
クリスマス献血キャンペーン



小学生高学年を対象にした
献血模擬体験の様子



はたちの献血イベントに参加された
けんけつ応援隊の方々



6月14日の世界献血者デーの様子



ハロウィン献血キャンペーン

全国の血液センターとのつながり

災害などで血液センターが被災した場合は、全国から血液製剤が集められます。また、定期的に災害を想定した搬送訓練を行っています。

陸上自衛隊久留米駐屯地で血液を持った職員を乗せ、宮崎県北部の県立延岡病院と宮崎市内の宮崎大学医学部附属病院へそれぞれ届けるまでの実働訓練の様子



献血できる場所

献血バスも県内各地を巡回しています。



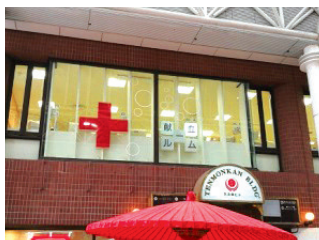
献血プラザかもいけクロス (鹿児島市鴨池新町)

受付時間

全血献血 9:00~12:00 / 13:00~17:00

成分献血 9:00~11:30 / 13:00~16:30

定休日 木曜日(年末年始は除く)



献血ルーム・天文館 (鹿児島市東千石町)

受付時間

全血献血 9:30~13:00 / 14:00~17:30

成分献血 9:30~12:00 / 14:00~17:00

定休日 金曜日(年末年始は除く)

資金の有効活用のため、この受領証をもって日本赤十字社の受領証にかえさせていただきます。
なお、本受領証は、免税証として利用いただけます。

払込みいただいた金額は個人については、所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく寄付金に該当し、法人については、法人税法第37条第4項に基づく寄付金に該当します。

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号
日本赤十字社鹿児島県支部 組織振興課
電話 099-252-0600

〈ご注意〉

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ATMではご利用いただけません。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・払込みの際、法令等に基づき、運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
- ・この用紙による、払込料金は無料となります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

町内会・自治会を通してご協力のほか、ご都合にあった方法で受付けております。この払込取扱票は、ご寄付を強制するものではありません。



日本赤十字社の活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社は、国内の赤十字活動の拠点として、各都道府県に支部を設置しており、県内では鹿児島県支部が赤十字活動を担っています。

当県支部は、1892年(明治25年)の創設以来、県民の皆様へのいのちと健康・尊厳を守るために、大地震・台風・水害等の災害救護をはじめ救急法などの講習普及など、赤十字の理念「人道」に基づき、幅広い活動を展開しています。これらの活動はすべて、皆様からのご寄付と活動の担い手である赤十字奉仕団をはじめとしたボランティアの皆様など多くの方々によって支えられています。

特に、被災地での医療救護活動や救援物資の備蓄・配布は、すべて皆様からご支援いただいた活動資金のみでまかなわれておりますが、近年減少傾向にあり、この傾向が続きますと、事業の継続実施が困難となることが懸念されます。



皆様お一人おひとりのご支援が、苦しむ人々を救う大きな力になります。

いのちと健康を守る日本赤十字社の活動資金にご支援をよろしくお願いいたします。

下の払込取扱票は、郵便局・ゆうちょ銀行窓口専用です。(手数料は無料です)

払込取扱票

99	福岡	口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円											
		0	2	0	2	0	1					9	2	5																	
加入者名	日本赤十字社鹿児島県支部										料金			備考	免																
ご依頼人・通信欄	おところ・おなまえ ※ お電話番号 ※ どこでこのチラシを手に入れましたか? <input type="checkbox"/> 市町村報・町内会回覧 <input type="checkbox"/> イベント会場 <input type="checkbox"/> 献血会場 <input type="checkbox"/> 赤十字講習(救急法・水上安全法・幼児安全法・健康生活支援講習) <input type="checkbox"/> その他()										【お願い】 下記にチェックをお願いします。 <input type="checkbox"/> 会員へ登録します。 <input type="checkbox"/> 会員への登録は不要です。										日附印										

ご依頼人欄に、おところ・おなまえをご記入ください。(承認番号福第13916号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

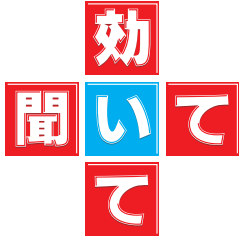
口座記号番号	0 2 0 2 0 1										9 2 5									
加入者名	日本赤十字社鹿児島県支部																			
金額	千	百	十	万	千	百	十	円												
ご依頼人	おなまえ										様									
料金	(消費税込み)										日 附 印									
備考	円																			

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

この払込取扱票は、ご寄付を強制するものではありません。機会がございましたらご利用いただけると幸いです。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。



VOL.70



厚生労働省HP

ACP(アドバンス・ケア・プランニング:人生会議)ってなに?

鹿児島赤十字病院 地域医療連携室

皆さんは「自分の考えを伝えられなくなった場合に備えて、前もって受ける医療に対する希望」について自分自身で考えたり、家族や友人、親しい方と話し合ったことがありますか?私たちは誰もが命や判断能力に影響するような大きな病気やケガをする可能性があります。このような時にあなた自身が受けるかもしれない医療について日ごろから考え、家族や信頼できる人、治療に関わっている医師等と事前に繰り返し話し合いを行い、あなたの希望を知ってもらっておくプロセスのことをACP(Advance Care Planning :アドバンス・ケア・プランニング)と言います。

これらの話し合いは、もしもの時に家族やあなたの信頼する人があなたの代わりに治療やケアについて難しい決断をする場合に重要な助けになります。今、あなたにはこのような前もっての話し合いは必要ないかもしれませんが、でも話し合いをしておけば、万が一あなたが自分の気持ちを話せなくなった時には、心の声を伝えることができるかけがえのないものになり、家族や信頼できる方の心の負担は軽くなるかもしれません。

家族や信頼できる人と日ごろの何気ない会話の中で、あなたの人生で大切にしたいことや考え、目標や希望などについて語ったり、かかりつけ医等と病気や治療について話し合い、あなたの想いを伝えてみませんか。

【引用・参考】 ACP普及・啓発リーフレット 厚生労働省
これからの治療・ケアに関する話し合い ~アドバンス・ケア・プランニング~
(パンフレット)厚生労働省

赤十字クイズ!!

Q。日本赤十字社のキャッチフレーズ
「○○○○を、つづける。」
この○○○○に入る言葉は?

☆ヒント☆ どこかのページに・・・

下記事項を明記の上、郵送・メール・FAXにて令和2年3月31日(火)までにご応募ください。

- ① お名前
- ② 郵便番号・ご住所
- ③ 電話番号
- ④ 年齢
- ⑤ クイズの答え
- ⑥ 「赤十字がごしま」へのご意見・ご感想
- ⑦ その他(今後掲載してほしい内容など)

正解された方に、抽選で3名様
「赤十字オリジナルグッズ」
をプレゼント!
何が届くかお楽しみ!!



〈応募先〉
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号
日本赤十字社鹿児島県支部 組織振興課
TEL:099-252-0600 FAX:099-258-7037
E-mail:shibu-rc@kagoshima.jrc.or.jp

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※本プレゼントの応募を通じてご提供いただきました個人情報、本プレゼントの運営に関する事以外の目的で使用することはありません。

ご自身や故人の思いを赤十字へ

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出を多くいただいております。

当県支部では、こうした尊いご意思に応えるために、遺産・相続財産の寄付などを承っております。また、これらの寄付金には非課税となる税制上の優遇措置があります。

詳しくは、日本赤十字社鹿児島県支部組織振興課までお問い合わせください。

ホームページで「遺贈パンフレット」の内容もご覧いただけます。

日本赤十字社 鹿児島県支部
Japanese Red Cross Society

099(252)0600

URL : <http://www.kagoshima.jrc.or.jp/>
E-mail : shibu-rc@kagoshima.jrc.or.jp

日赤鹿児島県支部

検索



赤十字見学者募集!

皆様からお寄せいただいたご寄付がどのように使われているか見学してませんか?詳細は上記連絡先へお問い合わせいただくか、またはホームページ「施設見学」メニューをご覧ください。